

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	英語6（English 6）		
ナンバリングコード	A30310 B30609	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A028062	クラス名	基礎クラス
担当教員名	長田 ミレナ		
履修上の注意、 履修条件	英語6ではクラス分けテストを行います。クラス分けテストを受けていないと履修登録を認めない場合がありますので、ご注意ください。		
教科書	教材は教員が用意し、授業中に配布します。		
参考文献及び指定図書	該当しない		
関連科目	英語1、英語2、英語3、英語4、英語5、イングリッシュコミュニケーション副専攻の科目		

○基本情報		
授業の目的	英語の最終レベルである英語6は、英語1～5で身につけた語学力を応用し、実演する機会です。英語6では、教師が設定したトピックについて、合計3回の短いプレゼンテーションを英語で準備し、発表します。大学のディプロマポリシーの「専門知識を活用するための技能とプレゼンテーション能力、チームで活動するためのコミュニケーション能力を身につけていること」のところに関連しています。	
	英語6では、教師が設定したトピックについて、英語で合計3回のプレゼンテーションを準備し、実施する。それぞれのプレゼンテーションにおいて、プレゼンテーションのスキルやテクニックを盛り込み、教師が模範プレゼンテーションで紹介したプレゼンテーションの構成に従います。各プレゼンテーションにおいて、原稿とパワーポイントを作成し、提出します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	英語でのプレゼンテーションに必要な自信と能力を身につけ、言語学習者・使用者として成功することができる。			25点
【知識・理解】	英語とそれがプレゼンテーションにどのように応用されるかについて、より深い知識と理解を得ることができる。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	身近なトピックについて英語でプレゼンテーションを準備し、実施するために、英語の知識とスキルを応用することができる。			25点
【思考・判断・創造】	英語で情報豊かなプレゼンテーションを準備するために、トピックの様々な側面を考慮し、評価することができる。			25点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
身近なトピックを題材に、英語で合計3回のプレゼンテーションを準備し、実施する。また、模範となるプレゼンテーション、プレゼンテーションのスキルやテクニックを学び、自分のプレゼンテーションに応用します。成績「無形成果」は、これらのプレゼンテーションの実施と準備に基づいて評価されます。プレゼンテーションはルーブリックによって評価され、フィードバックを次回以降の授業に行います。

○その他
このクラスは【基礎】クラスです。クラス分けテストの結果によって履修者の所属クラスが決まります。【一般】クラスでは、成績は「S」まで付与されます。尚、【基礎】クラスでは、より狭い範囲の評価に基づいて評価される。
授業で身に付けた英語を実践する場として、「イングリッシュコミュニケーションアワー」を積極的に活用することを勧めます。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	英語6 (English 6)	授業コード	A028062
	担当教員	長田 ミレナ		
学修内容				
1. クラス分けテスト				
クラス分けテストの結果によって履修者の所属クラスが決まります。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
シラバスの内容の確認、必要な勉強道具の用意、また所属GoogleClassroomのお知らせを確認すること。				
2. 模範プレゼンテーション1				
教員が指定したトピックに関する模範プレゼンテーションを見て、その構成とプレゼンテーション・スキルについて学習する。				
その後、模範プレゼンテーション1に基づいたプレゼンテーションの準備を始める。				
予習				
復習			約4時間	
プレゼンテーション1の原稿を書き始める。				
3. プレゼンテーションの準備1 (プレゼン原稿を書く)				
フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1の原稿を書く。				
予習				
復習			約4時間	
フィードバックに応え、原稿を完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。				
4. プレゼンテーションの準備2 (パワーポイントの作成)				
フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1のパワーポイントを準備する。				
予習				
復習			約4時間	
フィードバックに応え、パワーポイントを完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。				
5. プレゼンテーション1の発表				
発表日1。学生によるプレゼンテーション1を行う。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
フィードバックに応え、発表に向けて練習と準備をする。				
自分のフィードバックを振り返る。次のプレゼンテーションの準備を始める。				
6. 模範プレゼンテーション2				
教員が指定したトピックに関する模範プレゼンテーションを見て、その構成とプレゼンテーション・スキルについて学習する。				
その後、模範プレゼンテーション2に基づいたプレゼンテーションの準備を始める。				
予習				
復習			約4時間	
プレゼンテーション1の原稿を書き始める。				
7. プレゼンテーションの準備1 (プレゼン原稿を書く)				
フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1の原稿を書く。				
予習				
復習			約4時間	
フィードバックに応え、原稿を完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。				
8. プレゼンテーションの準備2 (パワーポイントの作成)				
フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1のパワーポイントを準備する。				
予習				
復習			約4時間	
フィードバックに応え、パワーポイントを完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。				

○授業計画	科目名 担当教員	英語6（English 6） 長田 ミレナ	授業コード	A028062
学修内容				
9. プレゼンテーション2の発表 発表日2。学生によるプレゼンテーション2を行う。				
予習	フィードバックに応え、発表に向けて練習と準備をする。			約2時間
復習	自分のフィードバックを振り返る。次のプレゼンテーションの準備を始める。			約2時間
10. 模範プレゼンテーション3 教員が指定したトピックに関する模範プレゼンテーションを見て、その構成とプレゼンテーション・スキルについて学習する。 その後、模範プレゼンテーション3に基づいたプレゼンテーションの準備を始める。				
予習				
復習	プレゼンテーション1の原稿を書き始める。			約4時間
11. プレゼンテーションの準備1（プレゼン原稿を書く） フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1の原稿を書く。				
予習				
復習	フィードバックに応え、原稿を完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。			約4時間
12. プレゼンテーションの準備2（パワーポイントの作成） フィードバックを受けながら、コンピュータを使ってプレゼンテーション1のパワーポイントを準備する。				
予習				
復習	フィードバックに応え、パワーポイントを完成させ、提出する。発表に向けて練習と準備をする。			約4時間
13. プレゼンテーションの準備3（練習と小グループ・フィードバック） 学生は小グループでプレゼンテーションを行い、フィードバックを受け、それに基づいてプレゼンテーションの内容や進め方を修正する。				
予習				
復習	フィードバックに応え、プレゼンテーションの内容や進め方を修正する。			約4時間
14. プレゼンテーション3の発表 発表日3。学生によるプレゼンテーション3を行う。				
予習	フィードバックに応え、発表に向けて練習と準備をする。			約2時間
復習	自分のフィードバックを振り返る。次のプレゼンテーションの準備を始める。			約2時間
15. プレゼンテーション大会 英語の各クラスでは、優秀なプレゼンテーションを数名選び、次週のプレゼンテーション大会に参加します。英語6の全学生が一堂に集まり、これらのプレゼンテーションを視聴します。				
予習	フィードバックに応え、発表に向けて練習と準備をする。			約2時間
復習	自分のフィードバックを振り返る。			約2時間
16.				
予習				
復習				